

平成 16 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 京セラ株式会社  
代表者名 取締役社長 西口 泰夫  
(コード番号 6971 東証、大証第 1 部)  
問合せ先 執行役員常務 石田 秀樹  
TEL: 075-604-3500

### 平成 17 年 3 月期 第 1 四半期 連結業績について

当社は、平成 16 年 3 月期決算短信(平成 16 年 4 月 27 日公表)に記載の通り、平成 17 年 3 月期の業績予想より、通期予想のみを公表させていただいております。

本日、発表いたしました、平成 17 年 3 月期第 1 四半期(平成 16 年 4 月 1 日から 6 月 30 日までの 3 ヶ月間、以下当期第 1 四半期)の連結実績は、平成 16 年 3 月期中間期(平成 15 年 4 月 1 日から 9 月 30 日までの 6 ヶ月間、以下前年中間期)連結業績を既に上回っており、当期第 1 四半期の税引前当期利益及び当期純利益が、前年中間期に比較してそれぞれ 51.5%、39.5%の増加となりましたのでお知らせいたします。

今回、平成 17 年 3 月期の通期連結業績予想については見直しを行っていません。平成 16 年 4 月 27 日に公表した通期連結業績予想は次の通りです。

(単位:百万円)

	平成 17 年 3 月期予想	増減率(%)
売 上 高	1,260,000	10.4
税 引 前 当 期 利 益	140,000	21.7
当 期 純 利 益	85,000	24.8

#### 業績予想に関する注意事項

この平成 17 年 3 月期 通期業績予想に記載されている記述には、1934 年米国証券取引所施行 21E 条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。(1)当社が関連する市場の状況(特に、日本、米国、欧州及びアジア(中国を含む)の経済状況)。(2)当社の売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)と円との為替レート。(3)競争の激しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場における当社の、革新的な製品を提供し、顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力。(4)通信やパーソナルコンピュータを含む世界の情報技術市場の将来における成長または縮小の規模及び速度。(5)テロ行為、SARS などの疾病の発生、その他当社の市場やサプライチェーンに混乱を与える可能性のある要素。かかるリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開または財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示または包含される将来の業績、事業活動、展開または財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この平成 17 年 3 月期 通期業績予想に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

以 上